

第17回関西広域連合委員会の概要

平成24年3月5日
関西広域連合本部

▶日 時：平成24年3月3日（土） 11：45～12：10

▶場 所：大阪府立国際会議場 10階 1009会議室

▶出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、松井委員、平井委員、飯泉委員、山内副委員
連携団体：橋下大阪市長
堺市、京都市、神戸市、福井県、三重県、奈良県は担当課長等が陪席

▶議事概要

（1）協議事項

① 北陸新幹線について

- ・ 敦賀以西の北陸新幹線のルート提案の基本方針と国から提案のあるFGT（フリーゲージトレイン）導入の評価や対応方針について、次回委員会で併せて諮ることとした。また、ルート提案に係る費用対効果調査の最終とりまとめは4月に行う旨の報告があった。
- ・ リニア中央新幹線のターミナル拠点等を関西全体で検討するべきと提案があり、広域インフラ検討会の検討テーマとすることを決定した。

② 新名神高速道路の全線早期整備について

- ・ 着工見送り区間の早期着工など、新名神高速道路の全線早期整備を求める緊急要望を決定した。

③ 和歌山大学大学院観光学研究科への博士課程設置について

- ・ 和歌山大学大学院観光学研究科博士課程の設置について、広域観光振興の視点からも期待されることから、連合として文部科学大臣あて要望を決定した。

（2）報告事項

- ・ 公設試験研究機関の機器等の他府県企業の利用料金について、広域連合区域内企業に限り、自府県並みとする制度改正を4月1日から実施予定である旨の報告があった。
- ・ 四国知事会における国出先機関の移管の検討状況の報告があった。また中国地方知事会でも広域連合を立ち上げる方向で進んでいることの報告があった。
- ・ 今冬の節電状況の報告とともに、4月には夏の電力需給の方向性を出したい旨の報告があった。

▶「原子力発電所に係る情報連絡及びエネルギー対策の促進に関する覚書」の締結
連合委員会終了後、関西広域連合と関西電力(株)との間で覚書を締結した。